

第1編 一般共通事項		第2章 昇降機設備工事		3.2.11 電気配線																					
第1章 一般事項		1.1.1 回生電力備蓄システム		3.2.11.1 一般事項																					
第1節 総則		○ 使用する。 ● 使用しない。		(1)昇降機工事/電気工事区分は下記に依る 共通:配管工事は電気工事 ・監視/制御/インターホン配線 ○昇降機 ●電気 ○該当なし ・遠隔監視配線 ○昇降機 ●電気 ○該当なし ・放送配線 ○昇降機 ●電気 ○該当なし ・非常照明配線 ○昇降機 ●電気 ○該当なし ・監視カメラ配線 ○昇降機 ●電気 ○該当なし ・セキュリティ配線 ○昇降機 ●電気 ○該当なし (2)電源設備は下記に依る ○動力・照明一次電源統合(動力電源一括受電、制御盤にて単相照明電源構築) ●動力・照明一次電源個別(動力/照明電源個別受電)																					
1.1.6 設計図書等の取扱い		図面に記載された能力、機能等は表記された内容とし、電動機出力は原則として表示された数値以下とすること。 【追加】		その他																					
第2節 工事関係図書				エレベータービッドに扉を設ける場合は、インターロックスイッチをエレベーター工事として設け、扉開放時にエレベーターが停止する機構とすること。扉にその旨の表示をすること。																					
1.2.3 施工図等		(a) 工事着手に先立ち、施工計画書を作成し、据付、出入口およびカゴ意匠、監視盤システム等に関する製作図、施工図、仕様書は全て監理者に 提出し承諾を受けること。 (b) 承認を受ける機器製作のための見本その他は下記とし、監理者に提出し保管する。 ● 扉仕上げ材 ● 幕板仕上げ材 ● 三方枠仕上げ材 ● かが内装材 ● ホールランタン ● 床材 ● 監視盤 ● ボタン類 特注品を採用する場合は、監理者に維持管理計画を提出すること。 また、表示器、ボタン等は長期 に供給可能な仕様とすること。																							
第4節 機器および材料																									
1.4.1 環境への配慮		国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に定めるところにより、極力環境負荷を低減できる材料を選択し、そのリストを監理者に提出し協議すること。 【追加】																							
1.4.3 機材の搬入		機材の搬入について、手順や安全対策、資格者の確認等を記載した搬入計画書を作成し、監理者の確認を受けること。また搬入後速やかに搬入報告書を監理者に提出すること。 【追加】																							
1.4.5 機材の検査等		(a) 昇降機設備場外立会検査試験の対象は下記とする。 <table><tr><th>機器名</th><th>備考</th><th>機器名</th><th>備考</th></tr><tr><td>乗用エレベーター</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (b) 場外立会検査試験 共通事項は下記とする。 ・場外立会検査にあたり、試験内容は監理者との協議による。 設計変更等により、監理者が騒音、振動や性能機能上、場外立会検査が必要と判断した場合、協議の上、上記以外の項目についても場外立会検査を行う。 ・工場検査の方法は、監理者の指示する要領に従うものとし、結果は文書をもって報告すること。検査及び立会にかかる監理者(設計者含む)、発注者の交通費、宿泊費等の費用は、全て受注者の負担とする。また、検査の結果不合格となった場合の再検査にかかる費用も同様とする。 かが内内装についても発注者及び監理者の検査を受け、検査合格後現場に搬入すること。 【追加】		機器名	備考	機器名	備考	乗用エレベーター																	
機器名	備考	機器名	備考																						
乗用エレベーター																									
第5節 施工																									
1.5.1 施工		(a) 足場桟橋類 ● 建築工事請負者が設置したものは無償で使用できる。 ● 本工事ですべて設置する。 (b) 電線・ケーブル ● 分電盤、制御盤、端子盤などの二次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監理者の承認を受けて変更できる。 ● 通線 長さ1m以上の通線を行わない配管には、導入線(1.2mm以上の樹脂被覆線等)を挿入する。 (c) 保守 無償全面保守期間は工事完成引渡し後、 ● 3ヶ月とする。 ○ 6ヶ月とする。 ○ 1年とする。 (d) 仮設使用 ● 01 号機 期間 6ヶ月間 ○ 号機 期間 ヶ月間 ● 仮設使用期間終了時には、完全に整備し引渡すものとする。 なお、仮設使用をしたエレベーターのメインロープは受注者の負担で交換する ただし 使用状況、ロープテスターによる点検および整備の結果により劣化または不具合がないと認められる場合は、監理者と協議の上、ロープ交換は行わなくても良いものとする。 (e) 光熱水費 ● 竣工引渡しまでに必要な光熱水費は本工事とする。		2.2.7 管制運転等																					
		2.2.7.1 地震時管制運転 地震時管制運転は、閉じ込み時リスタート運転機能を備えたものとする。 なお、建築物の高さが 120mを超え、昇降路頂部高さ及び昇降路全高が 60mを超えるエレベーターを設置する場合は、長尺物振れ管制運転を備えるものとする。																							
		2.2.8 エレベーター監視盤																							
		2.2.8.1 一般事項 エレベーター監視盤は、監視装置(表示部、操作部及びインターホン)、電源装置、操作卓等からなるものとし、監視装置の形式は下記とする。 ● 自立形 ○ 壁掛形 ○ デスクトップ形(非常用は除く。) エレベーター監視盤は、監視装置(表示部、操作部及びインターホン)、電源装置、操作卓等からなるものとし、監視装置の形式は下記とする。																							
		2.2.8.2 監視装置 エレベーターの運行状態監視、各種管制運転制御の機能、操作キースイッチ、ボタン類、用途別 インターホン(一般用、非常用)等を備えたものとし、次による。また、機能は製造者の標準仕様とする。 なお、デスクトップ形の場合の表示監視装置は、同様な機能の操作・監視ができるものとし、操作キースイッチ及び用途別インターホンは別置きとする。 (a) 表示部は、発光ダイオードによる表示又は液晶ディスプレイとする。 なお、非常用エレベーターの場合は、発光ダイオードによる表示とする。 (b) 表示項目は、電源識別表示、運行状態表示(運転、故障、運転方向、かごの位置)及び 管制運転表示(運転中表示、完了表示)とする。 (c) 操作キースイッチは、運転及び休止の切換スイッチ、各種管制運転を行う操作スイッチ、基準階切換スイッチ等を備えたものとする。 なお、適用は特記による。 (d) ボタン類は、故障警報リセットボタン等を備えたものとする																							
		2.2.8.4 操作卓 デスクトップ形の場合に設けるものとし、本体を床又は壁にアンカーボルトで固定できるように固定金具を備えたものとする。また、表示装置等は、転倒防止用の措置を講じたものとする。 ● 設計図による。																							
		2.2.9 エレベーター警報盤																							
		エレベーターの運行状態表示(運転、故障、各種管制運転等)、操作スイッチ、インターホン等を備えたものとし、機能は製造者の標準仕様とする。 ● 設計図による。																							

分類	仕様項目	01号機
基本仕様	機種名称	標準形機械室レスエレベーター
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（国生なし）
	操作方式	乗合全自動方式
	積載量	900kg
	定員	13名
	定格速度	60m/min
	戸閉方式	2枚戸両引き
	出入口幅 JJ	900mm
	出入口高さ HH	2100mm
	かご室サイズ（内法開口 AA）	1600mm
	かご室サイズ（内法奥行 BB）	1350mm
	かご室内法高さ	2300mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	4停止（1～4階）
その他基本仕様	動力用電源	AC3φ-200V-50Hz
	照明用電源	AC1φ-100V-50Hz
	新築設計施工指針耐震クラス	クラスA14
	公共建築工事標準仕様 適用年版	令和4年版
	かご室トララク	トラルクあり
	数居階間	10mm
	車いす仕様	制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定（普通級）
	停電時自動着床装置	あり
	かご内防犯カメラ	エレベーター工事（かご内カラー液晶画面付）
	乗場三方枠	小枠 ステンレスヘアライン（1～4階）
	乗場戸	ステンレスヘアライン（1～4階）
	乗場戸開床名板	あり
	乗場数居	ステンレス製（1～4階）
乗場仕様	乗場ボタン	透明ストロークボタン（特殊フォント・Φ33） 抗ウイルス・抗菌シート・特殊フォント 建築枠組込（1～4階）
	車いす専用乗場ボタン	透明ストロークボタン（特殊フォント・Φ33） 抗ウイルス・抗菌シート・特殊フォント 建築枠組込（1～4階）
	乗場休止スイッチ	あり
	ホールランタン	建築枠組込み（1～4階）
	乗場休止スイッチ取付位置	監視盤組込み（1～4階）
	天井	ガラスクロス全面光天井（電球色）
	正面壁	鋼板塗装（指定色）
	側面壁	鋼板塗装（指定色）
	袖壁材質	ステンレスヘアライン
	出入口上板	ステンレスヘアライン
	かご室戸	ステンレスヘアライン
	巾木	ステンレスヘアライン
	かご床	磁器質タイル t10（建築工事）
	かご室数居	ステンレス製 2枚戸両引き用
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
かご室仕様	かご操作盤フェースプレート材質	ステンレスヘアライン
	一般用副かご操作盤	ステンレスヘアライン
	かごボタン	クリスタルボタン（Φ33・黄橙色LED） 抗ウイルス・抗菌シート・特殊フォント
	インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	正操作盤インジケータータイプ	かご内液晶インジケーター（10.1インチ）
	かご操作盤液晶インジケーター表示言語	平常時（日英）、注意喚起（日英/中韓切替）、緊急時（日英/中韓）
	車いす専用かご操作盤	両側面 ステンレスヘアライン
	車いす専用正かご操作盤インジケータータイプ	ドットLED（白色）
	車いす専用かごボタン	クリスタルボタン（Φ33・黄橙色LED） 抗ウイルス・抗菌シート・特殊フォント
	車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	かご室換気	DCファン
	かご室手すり	特殊形状ステンレスヘアライン（ユニオン製相当）
	かご室鏡	ステンレス鏡面種なし3分割（570mm×1400mm）
	キックプレート	ステンレスヘアライン（ビスなし）高さ：床面より350mm
	床保護マット	あり
	かご保護膜	あり

分類	仕様項目	01号機
基本仕様	工事使用	あり（契約条件に含む：使用期間1ヶ月以内）
	扉開閉報知機能	あり
	かご戸引込まれ防止センサ	あり
	セーフティシュー	片側（多光軸ドアセンサー付き）
	タッチレス戸閉促進・乗場前線知検まれ防止	自動戸閉促進・乗場前線知検まれ防止
	遮煙機能	あり（1～4階）
	点字名板取付方法	直打ち
	インターホン呼び出しボタン応答灯（聴覚障がい者対応仕様）	あり
	おもり非常止め	なし
	緊急地震速報利用地震時管制運転（客先より信号受信）	あり
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
	冠水時管制運転	あり
その他仕様	インターホン型式	24V
	無電圧A接点支給	地震（S波）検出時
	無電圧A接点支給	エレベーター安全回路動作時・閉込時・インターホンボタン押下時
	任意階サービス切捨し機能	乗場呼びのみ
	デジタルレコーダー	エレベーター工事
	戸開延長ボタン	クリスタルボタン（□33・黄橙色LED） 抗ウイルス・抗菌シート・特殊フォント
	到着予告チャイム	あり（方向識別なし）
	かご内アナウンス	かご内4か国語アナウンス（通常時：日英、緊急時：日英/中韓）
	かご室スピーカー	あり ON/OFFスイッチ
	高調波対策種類	DCリアクトル（K1=1.8）及び絶縁トランス（ノイズ・漏洩電流対応）
	フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品）（2～4階）
	レール支持方式	1フロア1ブラケット
	煙感知器点検口スイッチ	正面側上部取付 【標準】
	仮設動力電源	1式

No.01号機

E V 除外工事事項

建築工事関係

- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事
（昇降路壁は5cm² 切り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）
- 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め工事
- 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器據置用のフック設置工事（20kN）/台
- 遮煙階がある場合の非常数出口設置工事（かご数居先端から125mm以下）
- ビット内防水仕上工事（必要の際は、排水設備工事含む）
- ビット床下部使用の場合の建築対策工事
- ビットが深い場合の埋め戻し・浅い場合ははつり工事
- 段違いビット時のビット内保護工事（必要の場合）
- 昇降路内部の騒音・振動が居室に伝播しないレイアウトおよび各種防音・防振工事
- 居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行うこと
（対策例1）昇降路の壁（RC）を厚くする
※（200mm以上推奨）
（対策例2）隣接居室内のボードや天井を、昇降路壁（RC）に直接接しない工法とする
（対策例3）隣接居室内のボードに制震材（鉛板）、吸音材を貼付すること

11. その他建築に関する工事

設備工事関係

- 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事（繋ぎ込み工事含む）
- インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事（0.9φ×10本）/台
- 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
- 遮煙ドアご採用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
- エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事（昇降路内から最寄の電話中継盤まで）
- 建設設備連動に必要な接点供給工事
- ビット内点検用コンセント設備工事（照明用AC100Vとは別系統のこと）
- 昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）
平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の扉は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
- かご内TVカメラがある場合、かご内TVカメラ用配管配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）
・50～2V同軸ケーブル
- かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事
（非常放送がある場合3線式とすること）
- 昇降路の換気設備工事（平成12年建設省告示1413号第1第2号により昇降路内温度を40℃以下に保つ必要がある）
発熱量 エレベーター駆動部（1280W/1台）
+エアコン（ - W/1台）
- 据付工事用の仮設電源を無償支給願います。（本設電源と別し電源仕様にて支給願います。）
- 監視盤電源の監視盤までの引込工事及び配管配線工事

注意事項

- 昇降路開口・奥行寸法は、昇降路全域（ビット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
- コンクリート強度は21N/mm² 以上のこと
- 電源電圧の変動は+5%～-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件とすること
（1）昇降路内の温度は-5℃～40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%未満かつ急激な温度変化等により氷結・結露しないこと
（2）金属を消耗または腐食したり電気接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガス及び爆発性ガスのないこと
①腐食性ガス：硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素ガス、過酸化亜素ガス、アンモニアガスおよび海塩分における潮風
②昇降路標準電圧の基準例
硫化水素ガス＝H2S＝0.005 [ppm] 以下
亜硫酸ガス＝SO2＝0.01 [ppm] 以下
塩化水素ガス＝HCl＝0.05 [ppm] 以下
塩素ガス＝Cl2＝0.005 [ppm] 以下
アンモニアガス＝NH3＝0.1 [ppm] 以下
海岸地区における潮風＝海岸より2km以上の地区（ブルサイドの場合は上記塩素ガス0.2基準値以下）
③海岸より2km未満、ブルサイドの場合は昇降路内に潮風・ブル方向からの風が入らず、乗場が屋外に露出しないようなレイアウトとすること
④電気接点の接触障害となるもの：鉄粉、炭塵、化学工場における粉塵
⑤爆発性ガス、又は、粉塵：メタン、石炭ガス、ブタン、ガソリン、アセチレン、水素、エーテル、炭塵、穀粉
（3）エレベーターの電気信号に影響を及ぼす電磁波がないこと
電磁波の電界強度が10V/m以下の環境とすること
（4）原則、昇降路の設置場所は層高1000mm以下の高さとすること
（1）屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備により外部から風雨が侵入しないこと
（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
（2）センサ誤動作防止、及び乗場戸緊急閉防止のため、屋外又は、屋内ガラス越しから乗場及び駆動・制御装置（制御盤、押装置等）に直射日光が当たらない対策を実施のこと
- 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
- 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないようにすること
（建築基準法施行令第129条の2の4第1項第三号）
- 遮断器はインバータ回路対応のものを使用すること
- 輸送可能な適温対応車や台車などの重量物は250kg以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水または、防水対策を実施のこと
- エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を經由しないこと）
- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
（1）エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する
（2）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する（エレベーター・照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
（3）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離記録と接地極の分離をする
- 乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工する必要があります。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
昇降路内は不燃材もしくは難燃材（平12建告1402号で定められた材料又は国土交通大臣の認定を受けたもの）とする必要があります
※法定のオーバーヘッド寸法確保やドア設置取付に支障が無いが、施工範囲と厚みを昇降路担当へ連絡し問題ないことを確認ください
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行うこと。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります
- 製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います
電動機（巻上機・駆動機）：JEC-2110,2130, JIS C-4034-1
制御盤：JEM1021,1460
尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です
- かごの内装デザイン等が別造工事の場合、品質保証（変色、はがれ、劣化等の外観変化）対象外となります
また、昇降機保守対象外となります材質、構造等は以下を遵守のこと
材質：不燃又は難燃認定品
構造：該部品（鋼等含む）には、エレベーター非常止め作動時または緩衝器衝突時は4G（縦方向）、地震時は1G（横方向）相当の加速度が発生する可能性があるためそれに耐え、かつ揺動固定による劣化を考慮した取付構造とすること
照度：かごの床面で50ルクス（乗用、観台用以外にあっては25ルクス）以上の照度とすること
建築用途と使用環境の違いにより、早期に寿命を迎えることがあります
・かご照明の自動休止機能により、照明のON/OFF回数が多い
・かごの昇降による振動がある
- 施工作業時作業条件：月曜日～土曜日 8：00～17：00
尚、施工作業期間の内「4週6休」就労をさせて頂きます
- ELC-Quickは三菱電機ビルソリューションズ（株）とのメンテナンス契約が必要になります

分類	仕様項目	02号機
基本仕様	機種名称	小荷物専用昇降機
	用途	小荷物専用（フロアタイプ）
	制御方式	可変電圧可変周波数制御
	操作方式	相互階操作方式
	積載量	200kg
	定格速度	45m/min
	出し入れ口幅	900mm
	出し入れ口高さ	1230mm
	かご室サイズ内法（開口）	900mm
	かご室サイズ内法（奥行）	1100mm
	かご室サイズ内法（高さ）	1200mm
	出入口方式	貫通二方向
	正面側停止数	1停止（1階）
	背面側停止数	1停止（3階）
	かご戸閉方式	2枚戸下式
その他基本仕様	動力用電源	AC3φ-200V系-50Hz
	照明用電源	AC1φ-100V-50Hz
	乗場戸閉方式	2枚戸下式（1,3階）
	公共建築工事標準仕様 適用年版	令和4年版
乗場仕様	乗場三方枠	300～500mm ステンレスヘアライン仕上（1,3階）
	出し入れ口数居	標準 ステンレスヘアライン仕上（1,3階）
	出し入れ口戸	2枚戸 ステンレスヘアライン仕上（1,3階）
	出し入れ口操作盤フェースプレート材質・仕上	樹脂製密閉シート（防滴）（1,3階）
	天井・正面壁・側壁材質仕上	ステンレスヘアライン仕上
	床仕上	ステンレスヘアライン仕上
	かご室戸	2枚戸 ステンレスヘアライン仕上
	オールステンレス化	出し入れ口+かごステンレス化（SUS304）
	かご扉同時開閉	あり
	オートアナウンス	あり
	巻上機ロープ外れ止め	あり
	異常警告ブザー	あり
	到着ブザー	あり
	機械室点検口スイッチ	あり
	運転休止スイッチ	あり
その他仕様	ドアホールド装置（出し入れ口戸開時）	あり
	ドアアシストクローズ装置（出し入れ口戸開時）	あり
	高調波対策	リアクトル+ノイズフィルター

居室インターホン：3階 食料科職員室内

No.2号機

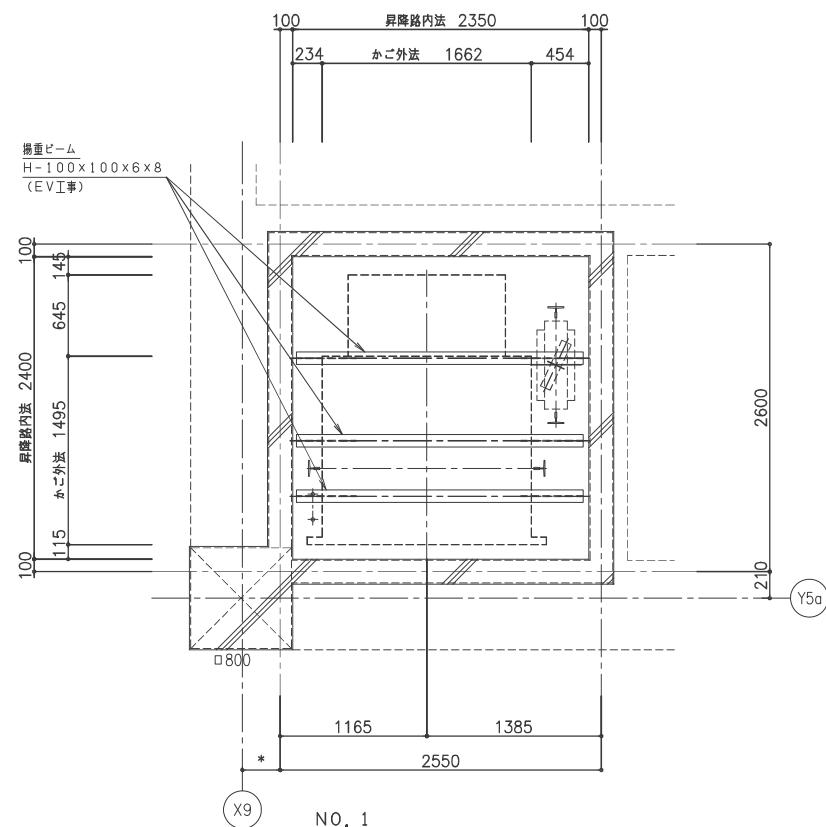
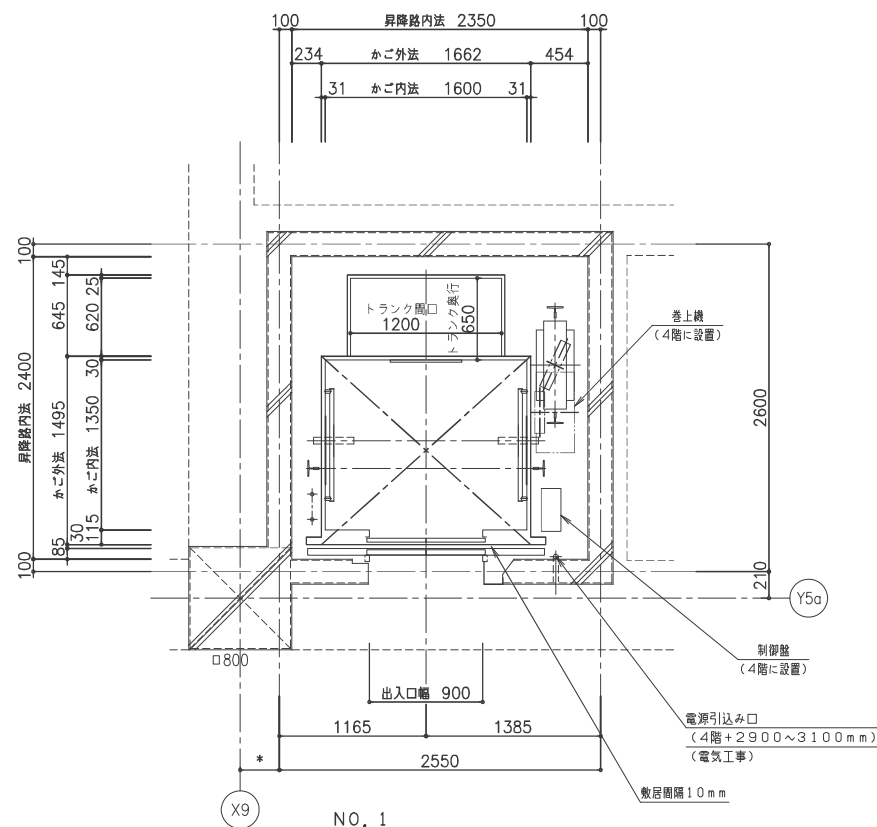
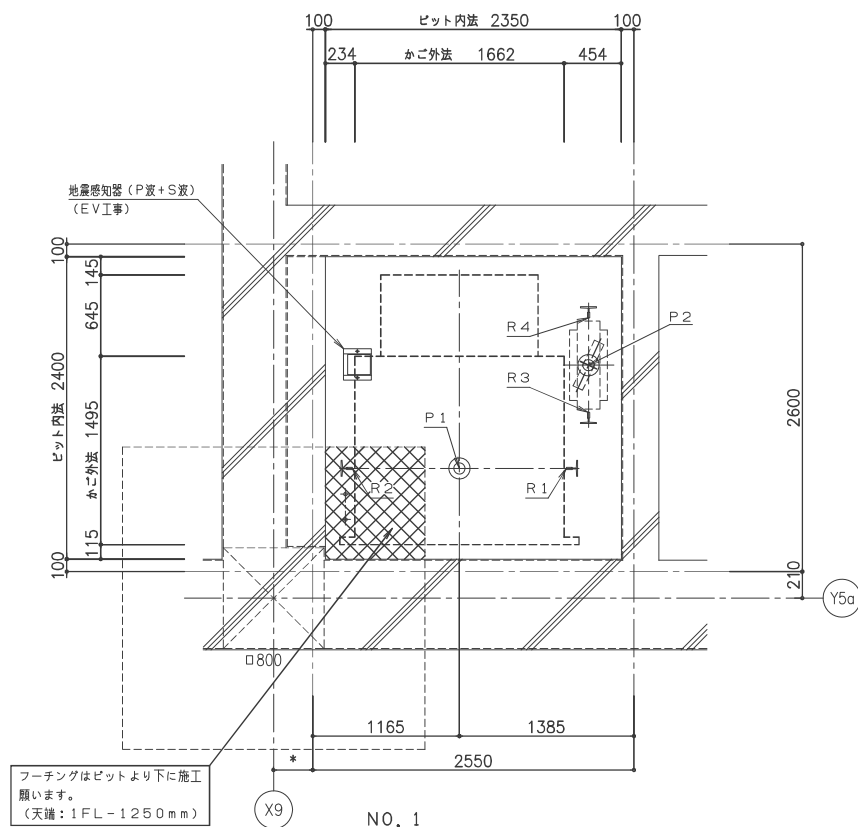
E V 除外工事

- 昇降路及び機械室の築造工事
- 機械室及び各階出し入れ口孔閉工事
- 機械室出入口設備及び機械室入口とその築ぎ工事
- ビット内防水工事
- ビット床下部使用の場合の建築躯体工事
- 動力電源（接地工事を含む）の機械室受電箱迄の引込工事
- 機械室内の照明設備及び点検用コンセント設備工事
- ビット内点検用コンセント設備工事
- 機械室天井の吊りフック工事

注意事項

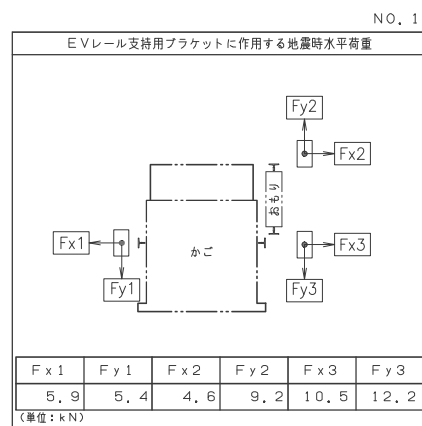
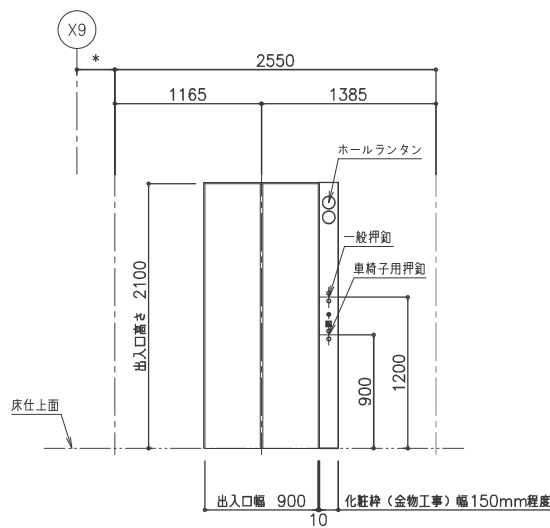
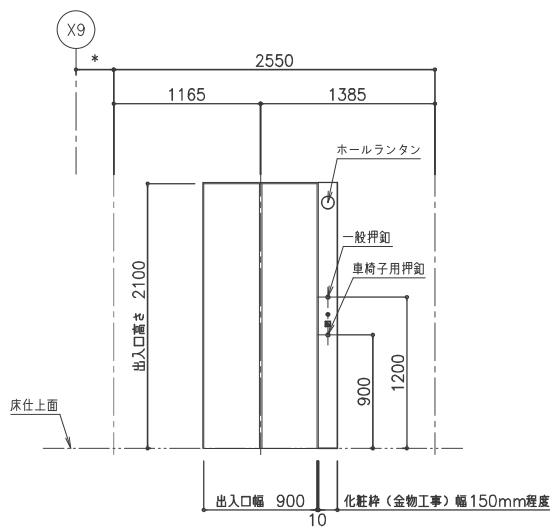
- 電源電圧の変動は+5%～-10%以内の事
- 本システムウェーター所定の性能維持の為下記条件を守る事
1：月平均湿度90%以下
2：金属を消耗又は腐食したり接点の腐の接触障害の原因となる様な塵及び化学的有害ガスが無い事
- 昇降路壁に電気・水道等の配管器具を埋込まない事
- 本エレベーター機械室内機器の発熱量は 490Wとなります。

	訂正	・				件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事
		・				図面名称	昇降機設備図1
		・				図尺	縦尺 A1版 - A3版 -
		・				図面番号	EV-003
		・					



強電・弱電の引き出し長さ

電線長さ (mm)	NO. 1
電力電線	7000
弱電線 (必要な場合)	11000



注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。

ビット鉛直荷重（短期荷重）

	P1 (kN)	P2 (kN)
NO. 1	111.7	92.7

	R1 (kN)	R2 (kN)	R3 (kN)	R4 (kN)
NO. 1	5.9	29.5	53.0	24.0

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値 ^(*) 動作時間	電線サイズ（C-V-T）	接地線サイズ
NO. 1	AC3φ200V 50Hz	6.1kW	5kVA	50AT	100mA以上 0.2秒以上	52mmまで 90mmまで 138mmまで	8mm ² 14mm ² 22mm ²

採用用電源AC1φ100V 50Hz（設備容量1kVA、電源側NF容量20AT）
 （*）電源側に漏電遮断機を設置する場合

照明用電源AC1φ100V 50Hz (設備容量1kVA, 電源側NF容量20AT)

(*) 電源側に漏電遮断機を設置する場合

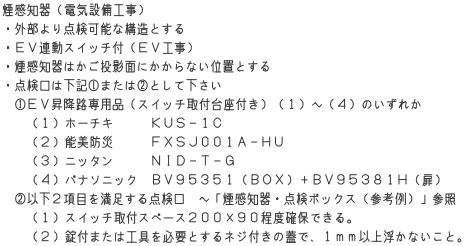
高調波対策内容		機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P1 (kVA)	回路分類 細分No.	6バルス 換算係数 (K1)	6バルス等価 容量 [Ki×P] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電圧に対する高調波電流発生率In (%)							
										5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
○	ノイズフィルタのみ (標準)	01号機 AXIEZ-LINKs(900kg-60m/min)	7.6	1	7.6	31	3.4	25.9	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
	33					1.8	13.7	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2	

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量PI (kVA)}}{100} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I_n (\%) \times \text{機器最大稼働率 } k (\%)$$

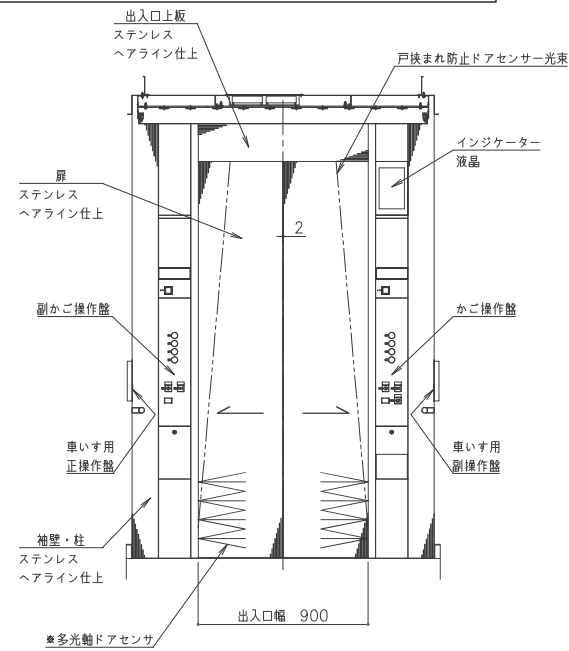
訂正	・				作名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事		
	・							
	・							
	・				図面名称	概略	図面番号	
	・				昇降機設備図2	A1版 - A3版 -	EV-004	



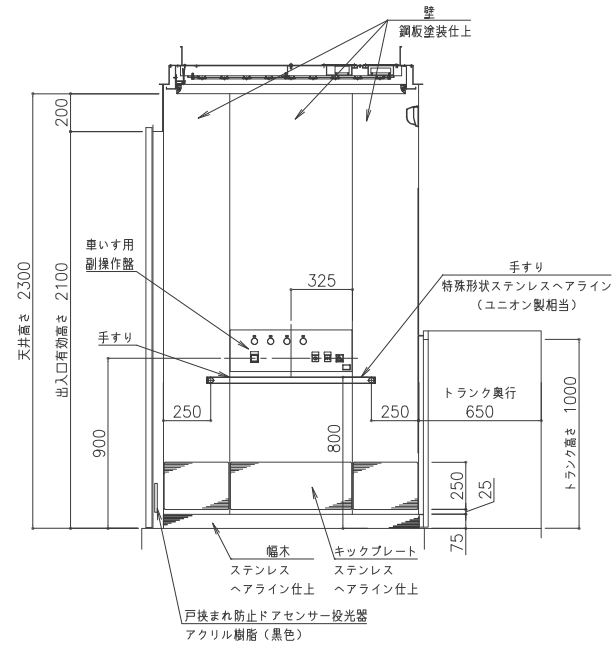
	P 1 (kN)	P 2 (kN)
NO. 1	111.7	92.7

訂正	.				件名	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校校舎新築(建築)工事		
	.							
	.							
	.				図面名称	降尺	図面番号	
	.				昇降機設備図3	A1版 -		
	.					A3版 -	EV-005	

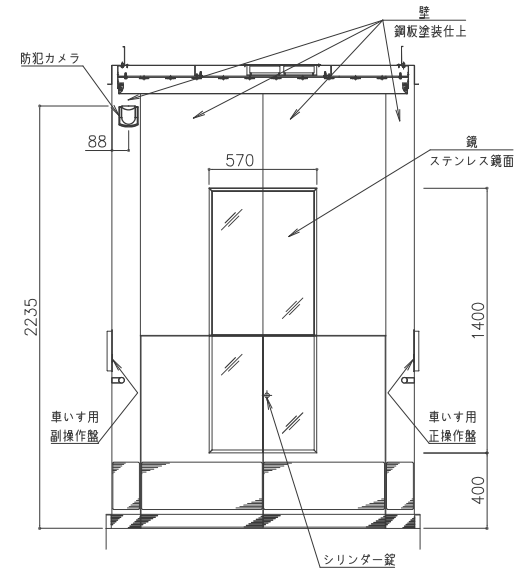
01号機 かご室意匠図 (s = 1 / 20)



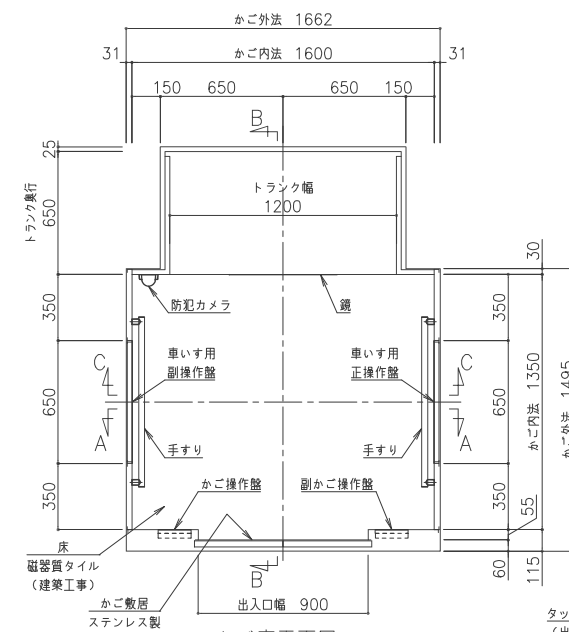
かご室正面図 (A-A矢視)



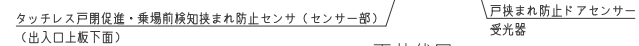
かご室側面図 (B-B矢視)



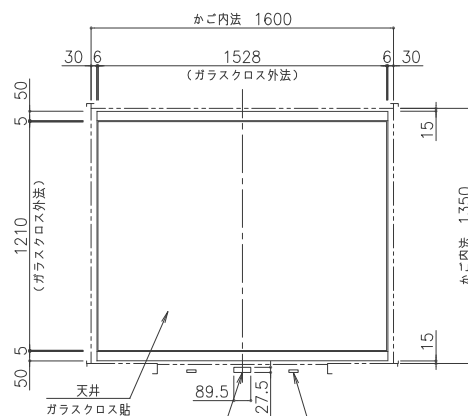
かご室背面図 (C-C矢視)



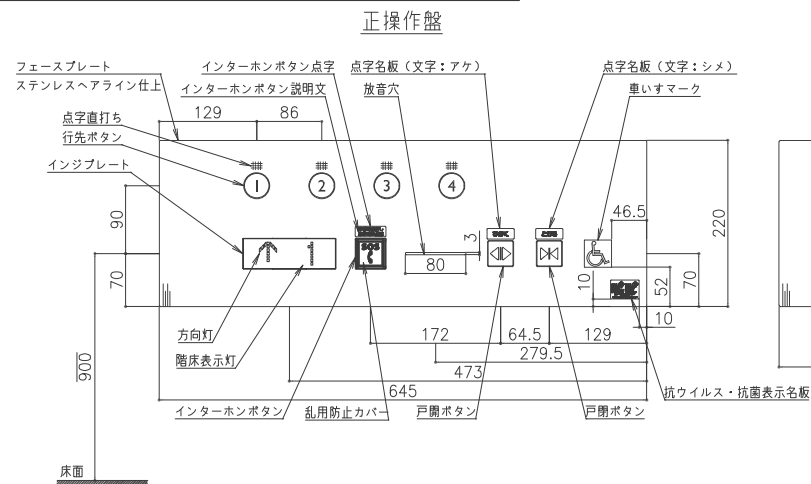
かご室平面図



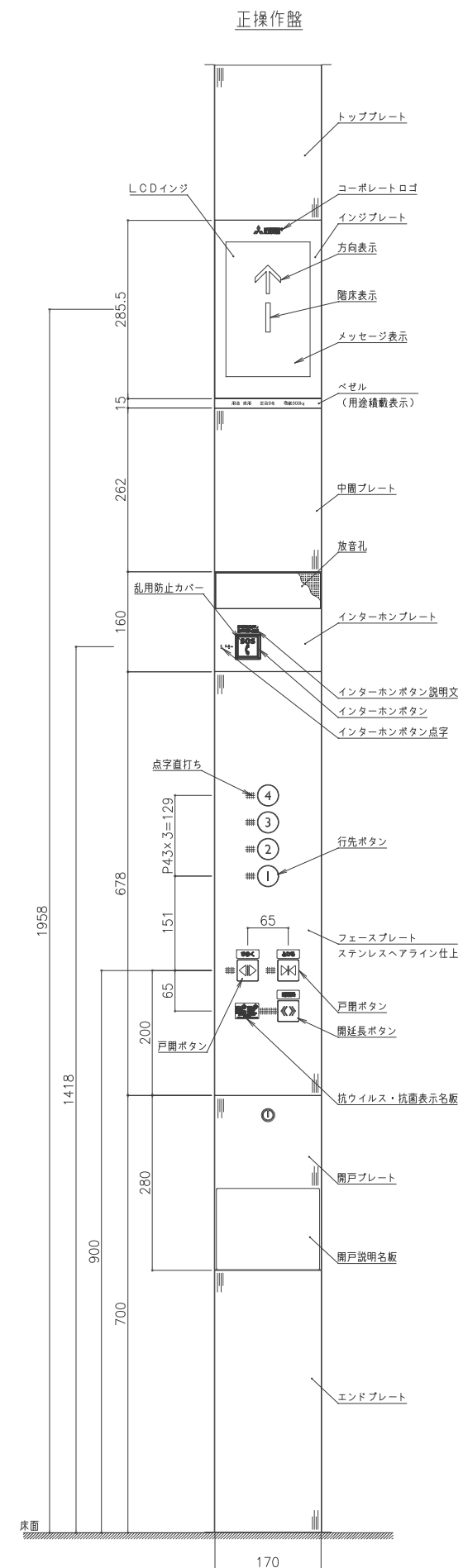
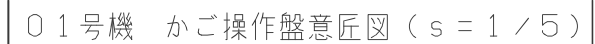
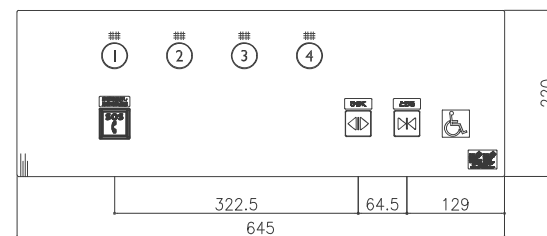
天井伏凶



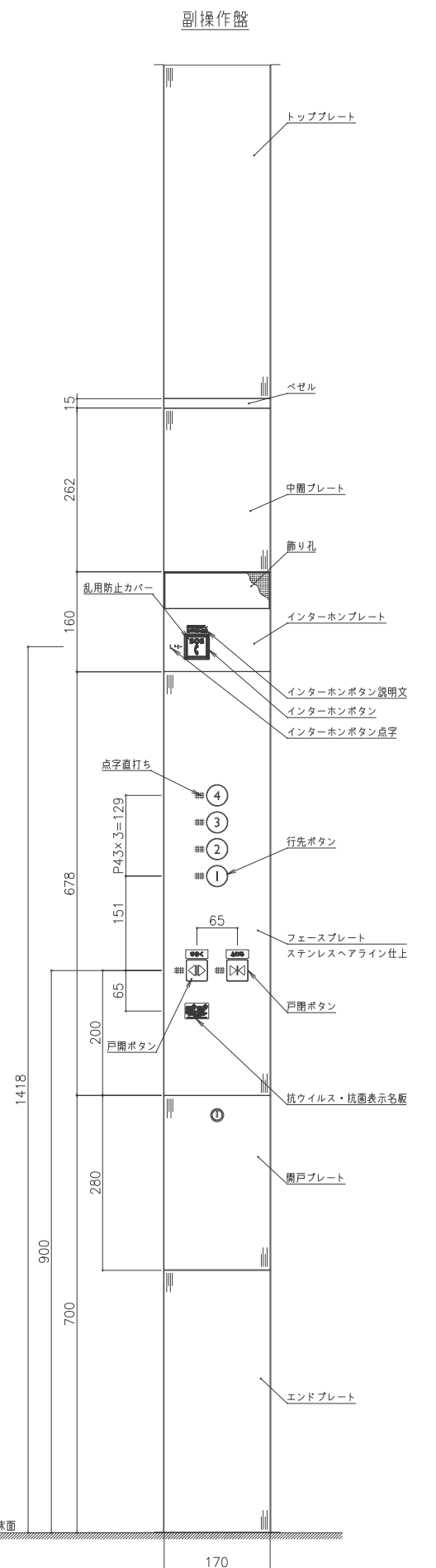
01号機 車いす用かご操作盤意匠図 (s = 1 / 5)



正操作盤



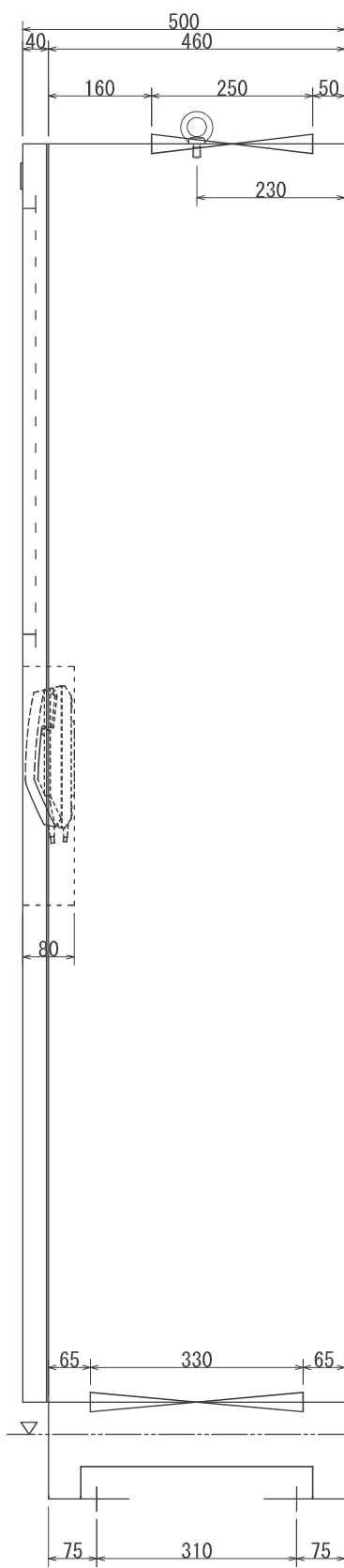
正操作盤



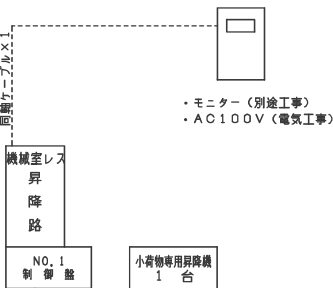
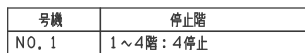
副操作盤

訂正	.
	.
	.
	.
	.

件名 岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事	図面番号 EV-006
図面名称 昇降機設備図4	種別 A1版 - A3版 -

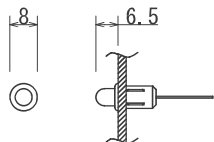


名 称	種 類	機 能
緊急地震速報灯	発光ダイオード φ5 赤色	緊急地震速報を受信したとき点灯します
方向灯	発光ダイオード φ5 昇り：緑色 降り：赤色	カゴの運動方向を表示します
運転灯	発光ダイオード φ5 緑色	カゴが運転可能なとき点灯します
異常灯	発光ダイオード φ5 赤色	安全装置が作動した場合、戸を開かない場合等によりカゴが再起動不能の場合点灯します
管制完了灯	発光ダイオード φ5 緑色	管制運転において、カゴが指定間に着床し戸が全開するとき点灯します
停電時自動着床灯	発光ダイオード φ5 赤色	停電時自動着床電源供給時点灯、停電時自動着床電源遮断時消灯します
P波灯	発光ダイオード φ5 赤色	P波感知器（初期微動）が作動したとき点灯します
高ガ灯	発光ダイオード φ5 赤色	S波感知器で高ガルを感知したとき点灯します
地震管制灯	発光ダイオード φ5 赤色	P波感知器またはS波感知器が作動したとき点灯します
火災管制灯	発光ダイオード φ5 赤色	火災管制運転に切り替わったとき点灯します
冠水管制灯	発光ダイオード φ5 赤色	冠水管制運転に切り替わったとき点灯します
キースッチ	三変電機	※900
ワンフレスト	I DEC	各表示灯の球切れをチェックします
プザーヒット	I DEC	プザーが鳴っている時に押すとプザーが止まり、異常灯は復旧するまで点灯します
インターホン	N1C 電圧 DC24V	エベクターのカゴとの連絡用に設けてあります
階床灯（デジタル）	デジタル16ビタメント 赤色	カゴの位置を表示します（デジタル） 1 2 3 4

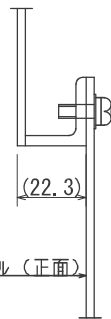


名 称	キー外形	機 能
運転休止 スイッチ 〔2点2板〕		「運転」：通常運転となります 「休止」：指定距離に到着休止します
地震管制 スイッチ (一般用EⅤ) 〔2点2板〕		「自動」：地震計出力による地震管制運転を行います 「手動」：地震計動作の有無に関係なく地震管制運転を行います
火災管制 スイッチ 〔3点3板〕		「自動」：火災信号と連動して火災管制運転を有効にします 「切」：火災管制運転を無効にします 「手動」：パンク毎の全列車一斉に避難路障害運転となります
緊急地震速報 スイッチ (ロック)		「ON」：緊急地震速報を無効にします(ワンプ点灯) 「OFF」：緊急地震速報を有効にします(ワンプ消灯)

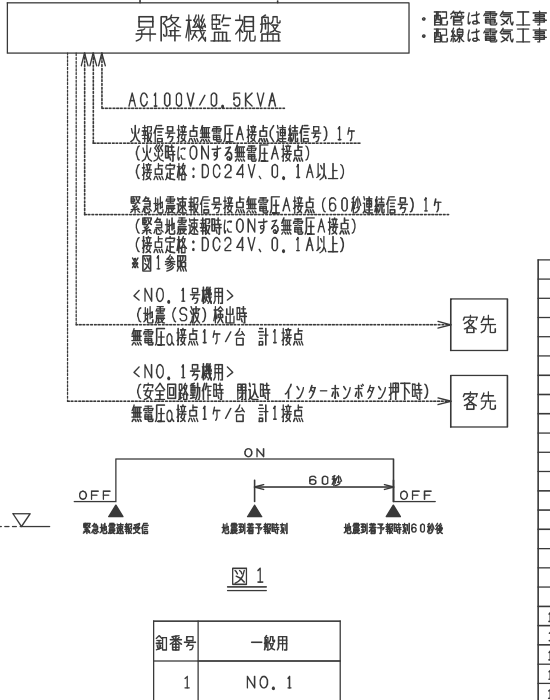
(▽はキーの抜き差し位置を示す)



LED
(S = 1 / 1)

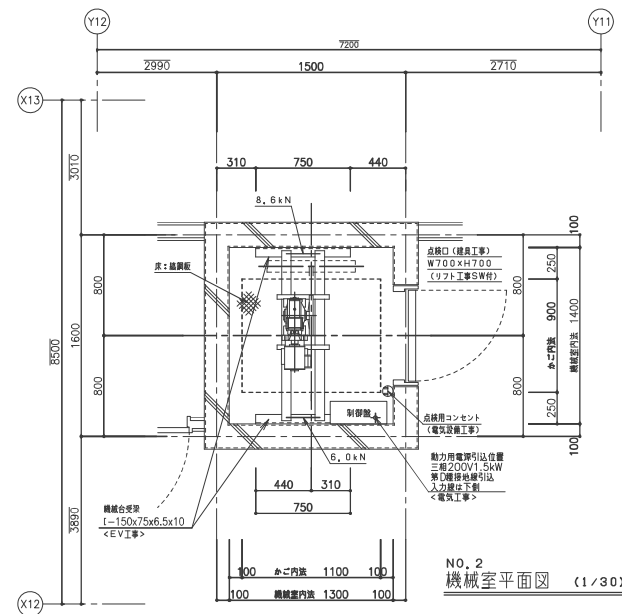
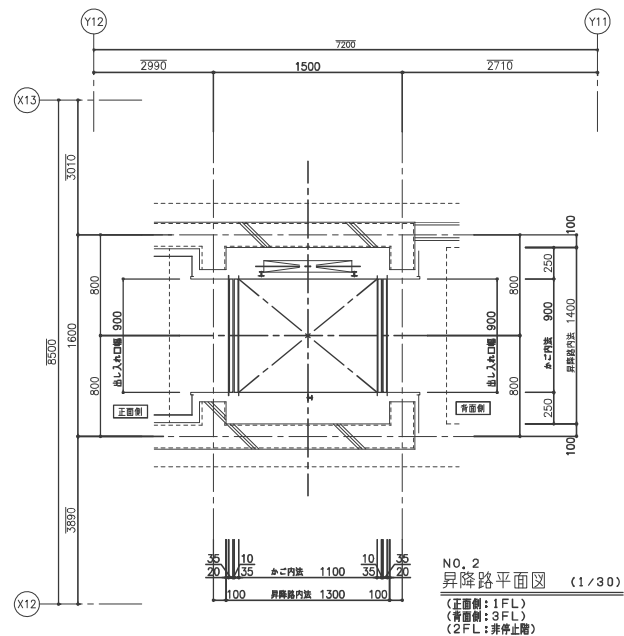


パネル取付部詳細図
(S = 1 / 1)



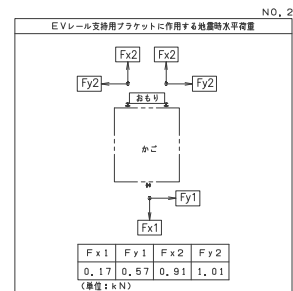
インターホン選局
押釦スイッチ詳細

1	筐体部：鋼板製12、3指定色焼付塗装仕上
2	パネル部：鋼板製12、0指定色焼付塗装仕上
3	筐体指定色：
4	パネル指定色：
5	パネル部：文字・ラインはシルク印刷とする
6	シルク印刷仕様：書　体　和　文=丸ゴシック体 英数字=丸ゴシック体 大きさ）表示部：5mm、操作部4mm ライン）0、5mm 色　　　）
7	使用LED：丸　型MD-510シリーズ（押野電気） 16セグメントPSO-08-11EWA（キングダイト）
8	LED表示色：緑）UP、運転、管制完了灯 赤）上記以外の全て（デジタリ表示も含む）
9	操作部：ワンパネスト、プザーセット、地震速報解除 押引スイッチはLB3シリーズ（IDEC） レンズ透明、記名銘乳白、本体黒色。 緊急地震速報解除スイッチはガードカバー付
10	表示灯電源：DC24V昇降機監視協構成
11	操作電源：DC24V又はDC48Vエレベーター側構成
12	インターホン電源：DC24Vエレベーター側構成
13	入力電源：AC100V
14	車椅子仕様号機：車椅子用のインターホン選局押引スイッチは、カゴと同一とする
15	ELV：NO、1号機はシリアル伝送とする
16	シリアル伝送用インターフェースユニット及び電線は、昇降機監視協構成とする
17	機械室レールの、インターホンはカゴのみとする

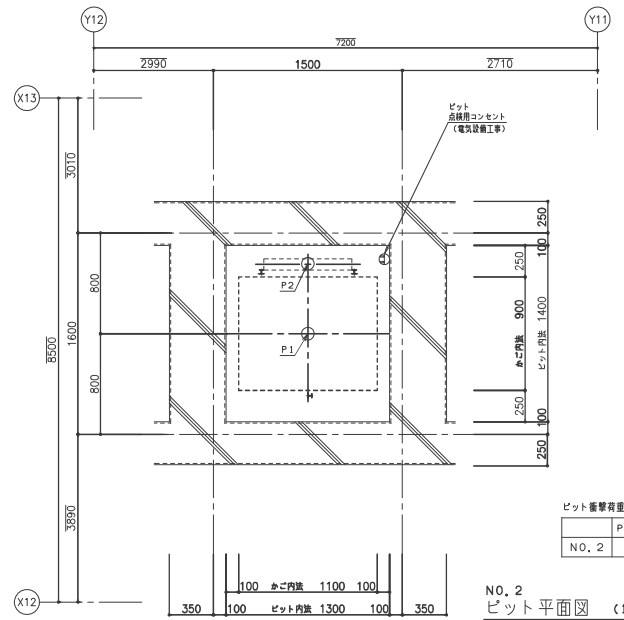


号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	電線サイズ (CV-T)	接地線サイズ	機械室発熱量
NO. 2	AC3φ200V 50Hz	1.5kW	3kVA	20AT	29mmまで 2.0mm ² 51mmまで 3.5mm ² 80mmまで 5.5mm ²	2.0mm ²	490W

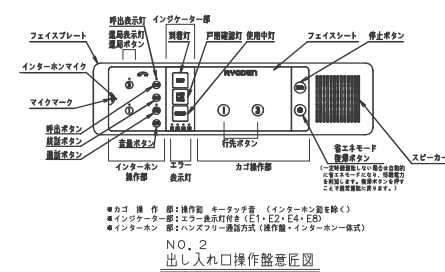
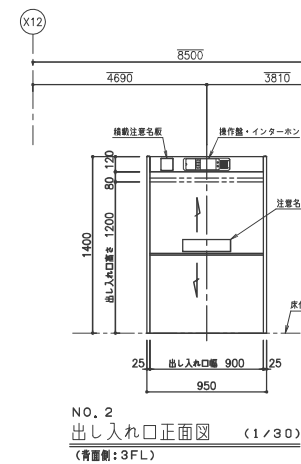
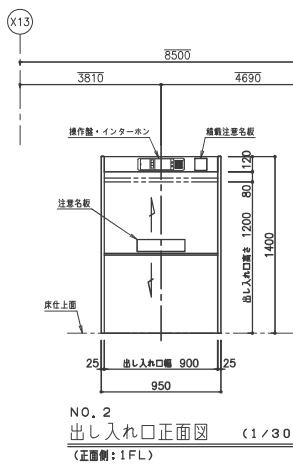
※電源電圧AC141.00V、50Hz



注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。



	P1 (kN)	P2 (kN)
N0. 2	34. 7	24. 4



居室インターホン：3階 食物科職員室内

NO. 2号機

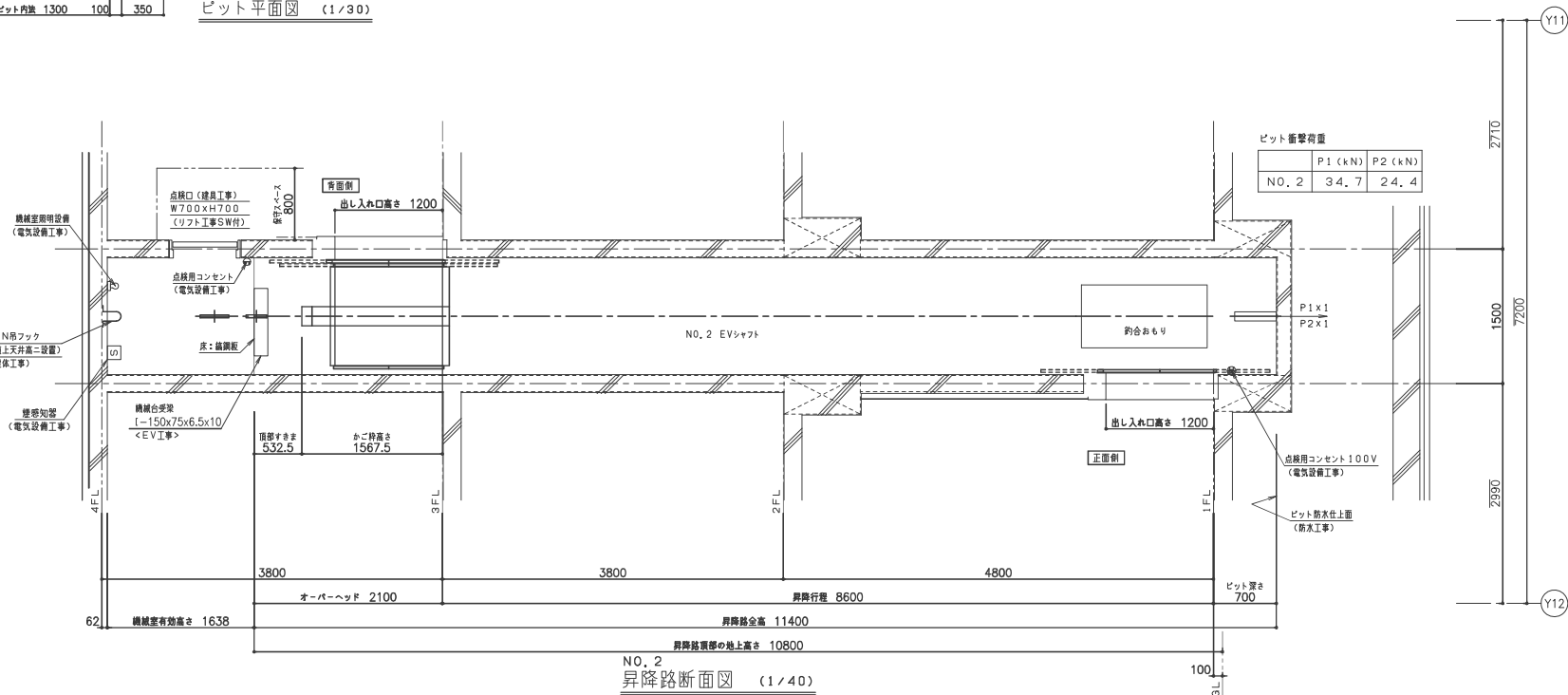
EV給付工事

- 1：昇降路及び機械室の築造工事
- 2：機械室及び名指し入口に石目張り工事
- 3：機械室及び入ロ設置及び機械室入口への蓋ぎ工事
- 4：建什室内防水仕上工事
- 5：ビュレット下部使用の場合の建築係止工事
- 6：動力電業（接捨工事を含む）の機械室受電箱迄の引込工事
- 7：機械室内の照明設置及び給排水コンセント設備工事
- 8：ビュレット内に電気・水道等の配管器具を埋込み工事
- 9：機械室天井の吊りフック工事

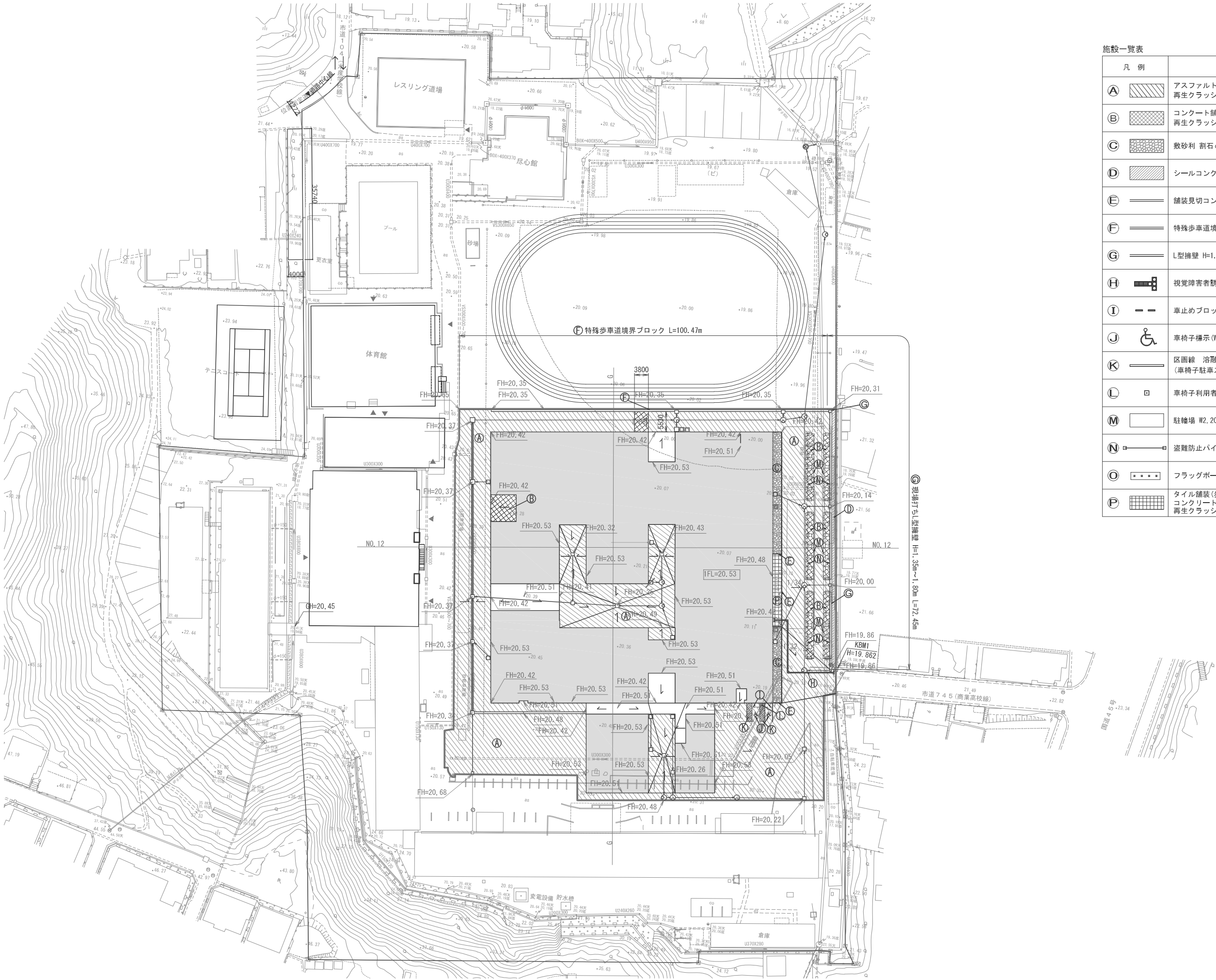
注意事項

- 1：電源ケーブルの動荷は 45%～100%以内とする
- 2：本ダムのフェーダーとなる性能維持の為下記条件を守る事
①：平均周波数90%以下平均95%以下
②：高周波を許容し又磨損した点接点の磨耗換価の原因となる様な磨及及び化学的腐食が無き事
- 3：昇降路壁面に電気・水道等の配管器具を埋込みない事
- 4：本エレベーター機械室内機架の発熱量は 490W

とあります。



訂正	-				件名	岩手県立富古商工高等学校及び岩手県立富古水産高等学校 校舎新築(建築)工事		
	-				図面名称	降尺 A1版 - A3版 -	図面番号	EV-008
	-							
	-							
	-							
	-							



施設一覧表

凡 例	名称・規格	数 量
Ⓐ	アスファルト舗装 再生密粒度As13 t=50、再生粗粒度As20 t=50 再生クラッシャーラン(RC0-40) t=300	4,354 m ²
Ⓑ	コンクリート舗装 コンクリート(24N-8-25) t=100 再生クラッシャーラン(RC0-40) t=100、溶接金網(鉄筋径6mm網目寸法150mm)	278 m ²
Ⓒ	敷砂利 割石φ200程度 t=300	130 m ²
Ⓓ	シールコンクリート t=50	45 m ²
Ⓔ	舗装見切コンクリート版 (2,000×570×60)	84 m
Ⓕ	特殊歩車道境界ブロック H=500 一般部(180/230×500×600)	100.5 m
Ⓖ	L型擁壁 H=1.35m~1.80m 現場打ち	72.5 m
Ⓗ	視覚障害者誘導ブロック(300×300 t=60)	9.7 m ²
Ⓘ	車止めブロック 2本/箇所(車椅子駐車スペースのみ)	2 箇所
Ⓙ	車椅子標示(W150換算延長 3.8m/ヶ所)	2 箇所
Ⓚ	区画線 溶融式 白色W=150 t=1.0 (車椅子駐車スペースゼブラ部分含む)	57.0 m
Ⓛ	車椅子利用者用駐輪場機軸	1 箇所
Ⓜ	駐輪場 W2,200×W18,105 H2,040.5 3.0m×6連	6 箇所
Ⓝ	盗難防止パイプ L=2000 SUS	36 箇所
Ⓞ	フラッグポール H=6.0m 4本立	1 箇所
Ⓟ	タイル舗装(歩道用) タイル張り (t=10mm)、モルタル (1:2) コンクリート(24N-8-25) t=80、溶接金網(鉄筋径6mm網目寸法150mm) 再生クラッシャーラン(RC0-40) t=100	48 m ²

G



DL=-5.00

NO. 12

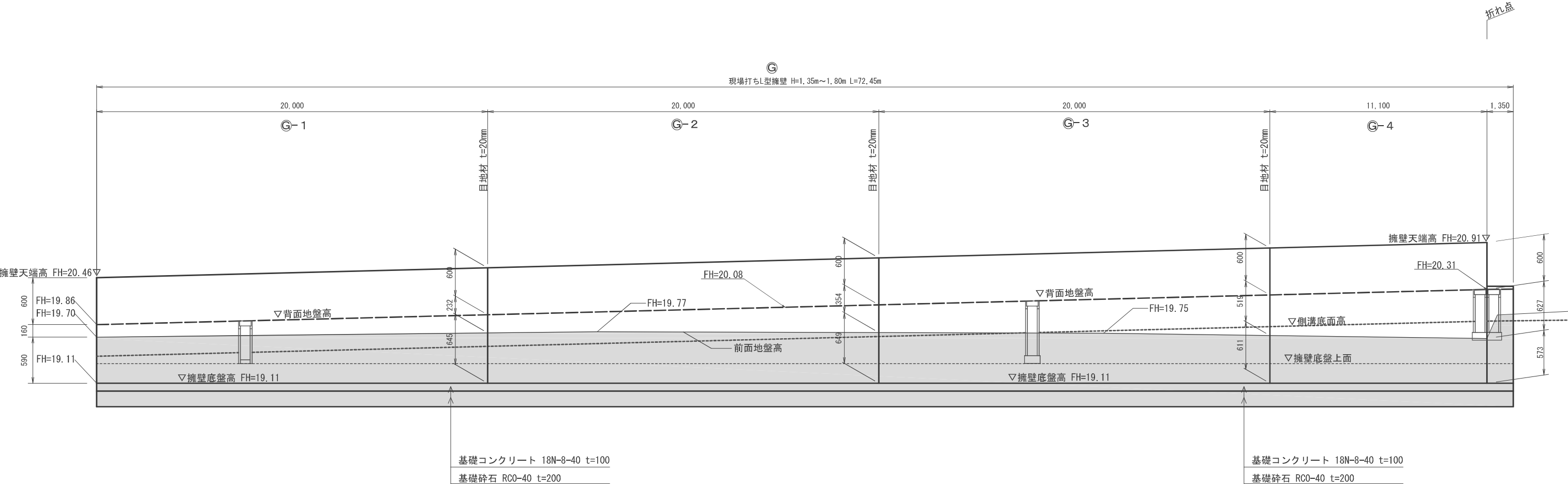


DL=-5.00

訂正	.
	.
	.
	.
	.

[illegible]

擁壁展開図 V=1:25、H=1:100

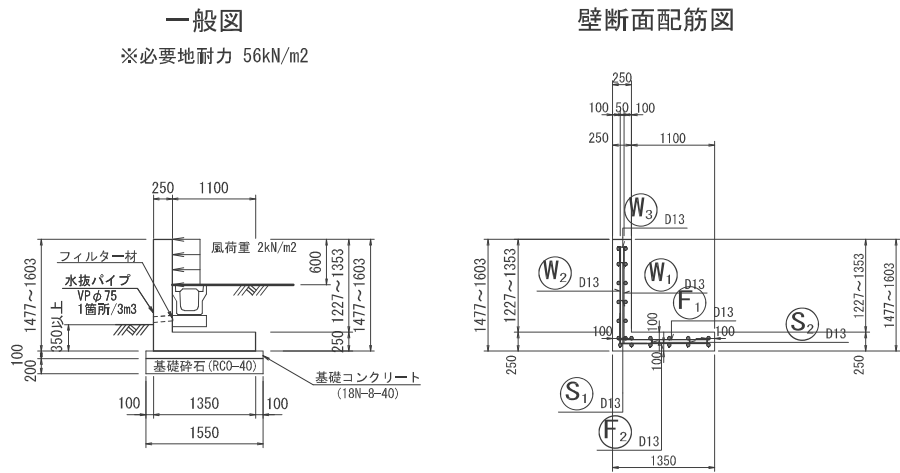


DL=15.00

DL=15.00

訂正	

件名 岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事	図示名称 擁壁展開図	図示 A1版 図示 A3版 図示/2	図面番号 G-004
--	---------------	--------------------------	---------------

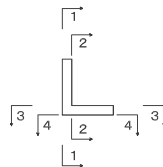


注) ・基礎地盤工については、支持力試験等により必要地耐力を確認すること。
・延長20m(以下)毎に目地材を設置すること。

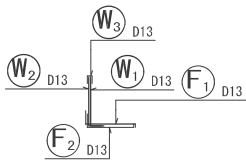
鉄筋表

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
W1	D13	1690	81	0.995	1.682	136	└ (平巻)
W2	D13	1690	81	0.995	1.682	136	└ (平巻)
W3	D13	440	81	0.995	0.438	35	└
W4	D13	12000	5	0.995	11.940	60	└
W5	D13	8500	5	0.995	8.458	42	└
W6	D13	12000	1	0.995	11.940	12	└
W7	D13	5000	1	0.995	4.975	5	└
W8	D13	12000	1	0.995	11.940	12	└
W9	D13	8500	1	0.995	8.458	8	└
W10	D13	12000	5	0.995	11.940	60	└
W11	D13	8500	5	0.995	8.458	42	└
W12	D13	12000	1	0.995	11.940	12	└
W13	D13	5000	1	0.995	4.975	5	└
W14	D13	12000	1	0.995	11.940	12	└
W15	D13	8500	1	0.995	8.458	8	└
F1	D13	1560	81	0.995	1.552	126	└
F2	D13	1560	81	0.995	1.552	126	└
F3	D13	12000	5	0.995	11.940	60	└
F4	D13	8500	5	0.995	8.458	42	└
F5	D13	12000	6	0.995	11.940	72	└
F6	D13	8500	6	0.995	8.458	51	└
S1	D13	310	40	0.995	0.308	12	└
S2	D13	880	39	0.995	0.876	34	└
D13						1108 kg	
合計						1108 kg	

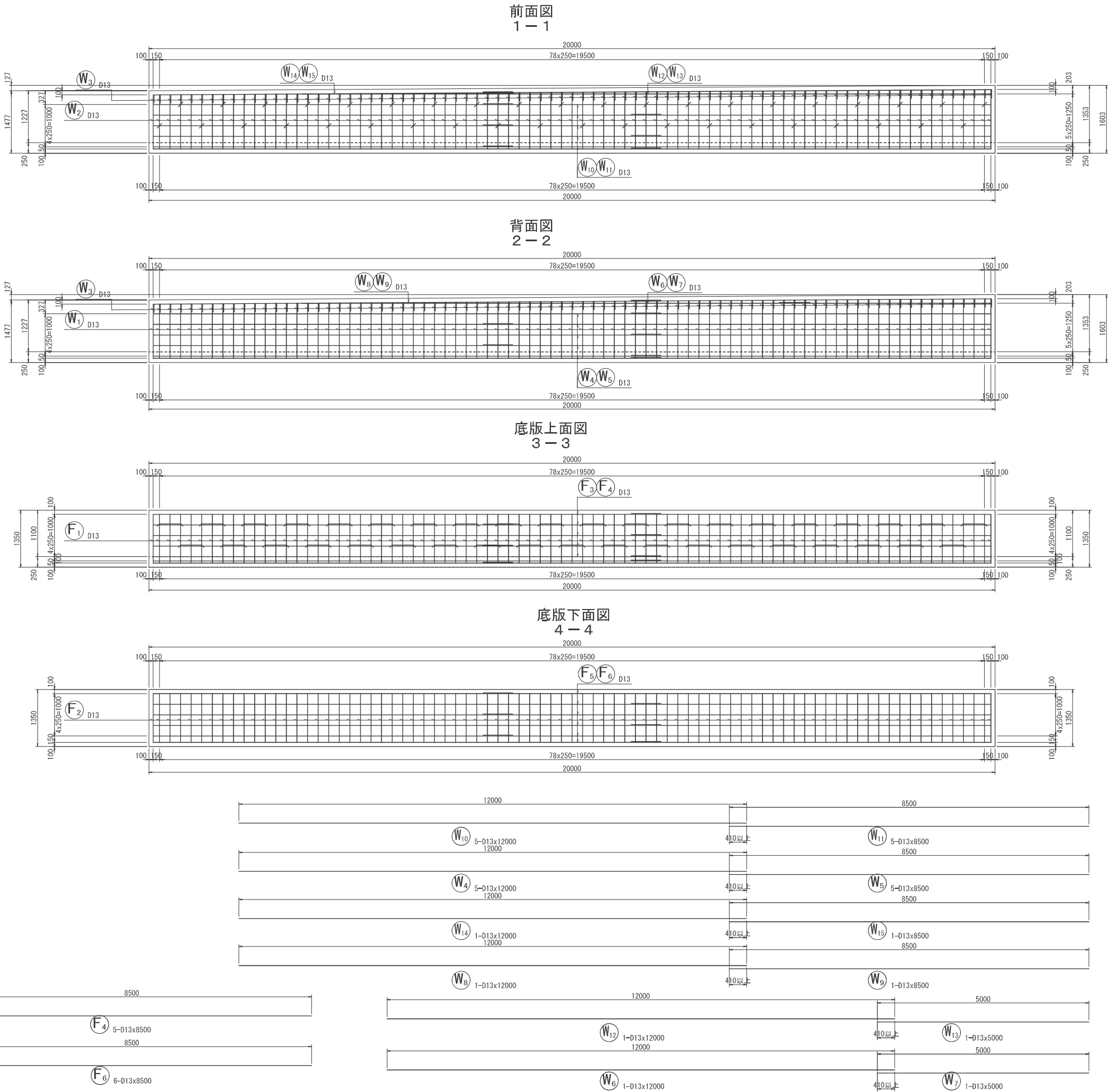
位置図



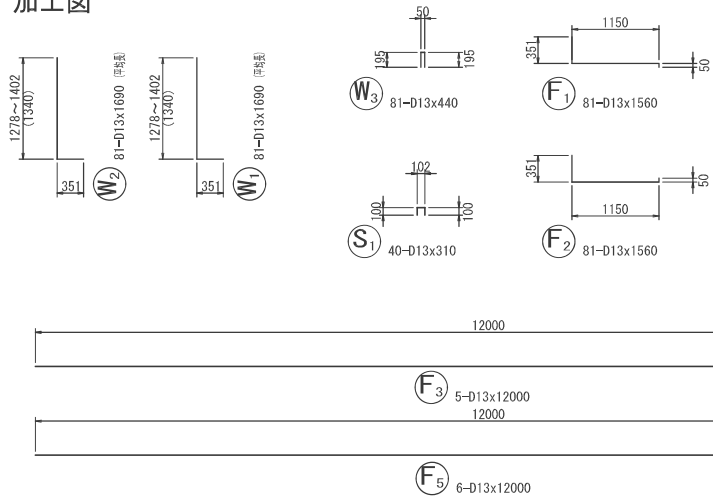
鉄筋組立図



㊦-2 現場打ちL型擁壁構造図・配筋図-2 (H=1.48~1.60m) S=1:50



加工図



※必要地耐力 56kN/m²

[illegible]

鉄筋表

[illegible]

Technical drawings of four types of steel pipe fittings:

- W₁**: Vertical fitting with a flange at the bottom. Dimensions: Total height 1404 ~ 1529 (1466), Flange thickness 351. Specification: 81-D13x1820 片組.
- W₂**: Vertical fitting with a flange at the bottom. Dimensions: Total height 1404 ~ 1529 (1466), Flange thickness 351. Specification: 81-D13x1820 片組.
- F₁**: Horizontal fitting with a flange at the right end. Dimensions: Total length 1150, Flange thickness 351, Flange width 50. Specification: 81-D13x1560.
- F₂**: Horizontal fitting with a flange at the right end. Dimensions: Total length 1150, Flange thickness 351, Flange width 50. Specification: 81-D13x1560.

Additional drawings at the bottom of the page show the dimensions for the fittings:

- W₃**: Vertical fitting with a flange at the bottom. Dimensions: Total height 195, Flange thickness 50. Specification: 81-D13x440.
- S₁**: Horizontal fitting with a flange at the right end. Dimensions: Total length 102, Flange thickness 100. Specification: 40-D13x310.
- S₂**: Horizontal fitting with a flange at the right end. Dimensions: Total length 526, Flange thickness 100, Flange width 70. Specification: 39-D13x880.

A diagram of a cross-shaped path. The vertical path has an arrow pointing up with the number 1, and an arrow pointing down with the number 1. The horizontal path has an arrow pointing left with the number 3, and an arrow pointing right with the number 3. At the intersection, there are two arrows: one pointing up with the number 2, and one pointing down with the number 2. The four outer ends of the cross also have arrows pointing away from the center, each with the number 4.

Figure 1-1: Front view cross-section of the bridge deck. It shows a rectangular cross-section with a total width of 20000mm and a total height of 1730mm. The deck is reinforced with longitudinal bars (W1-W11) and vertical stirrups (D13). The reinforcement is distributed across the width and height, with specific spacing and cover requirements indicated by dimensions.

Figure 2-2: Back view cross-section of the bridge deck. It shows a rectangular cross-section with a total width of 20000mm and a total height of 1730mm. The deck is reinforced with longitudinal bars (W1-W7) and vertical stirrups (D13). The reinforcement is distributed across the width and height, with specific spacing and cover requirements indicated by dimensions.

Figure 3-3: Bottom view cross-section of the bridge deck. It shows a rectangular cross-section with a total width of 20000mm and a total height of 1730mm. The deck is reinforced with longitudinal bars (F1-F4) and vertical stirrups (D13). The reinforcement is distributed across the width and height, with specific spacing and cover requirements indicated by dimensions.

Figure 4-4: Bottom view cross-section of the bridge deck. It shows a rectangular cross-section with a total width of 20000mm and a total height of 1730mm. The deck is reinforced with longitudinal bars (F5-F6) and vertical stirrups (D13). The reinforcement is distributed across the width and height, with specific spacing and cover requirements indicated by dimensions.

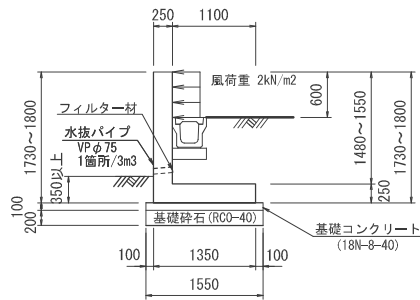
訂正	-
	-
	-
	-
	-

件名 岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校 校舎新築(建築)工事		
図面名称 L型擁壁構造図・配筋図-3	縮尺 A1版 1:50 A3版 1:100	図面番号 G-007

Ⓒ-4 現場打ちL型擁壁構造図・配筋図-4 (H=1.73~1.80m) S=1:50

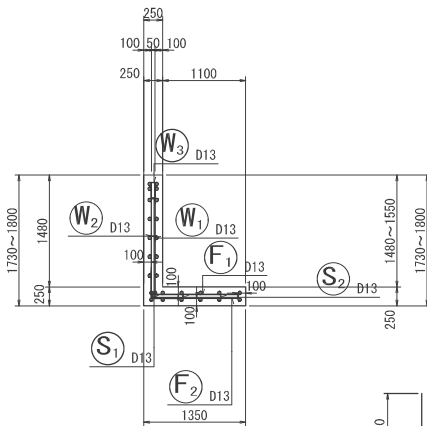
一般図

※必要地耐力 56kN/m²

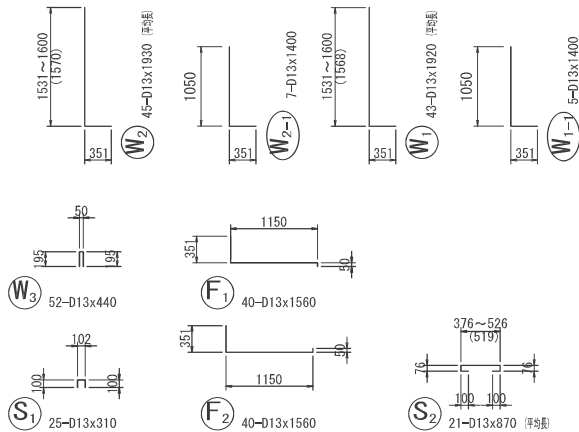


- 注) ・基礎地盤工については、支持力試験等により必要地耐力を確認すること。
・延長20m(以下)毎に目地材を設置すること。

壁断面配筋图



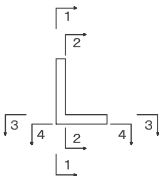
加工図



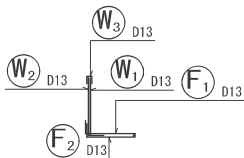
鉄筋表

[illegible]

位置図

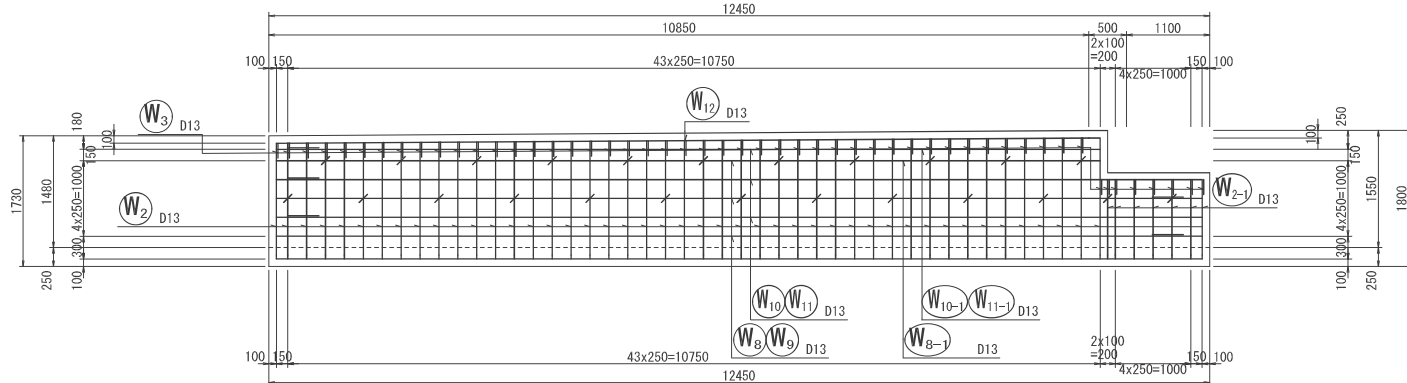


鉄筋組立図



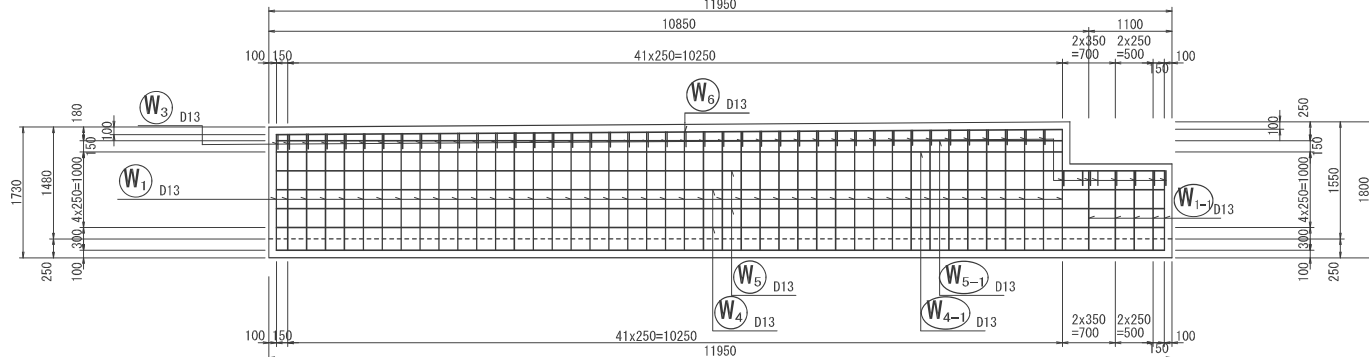
前面図
1-1

1 - 1



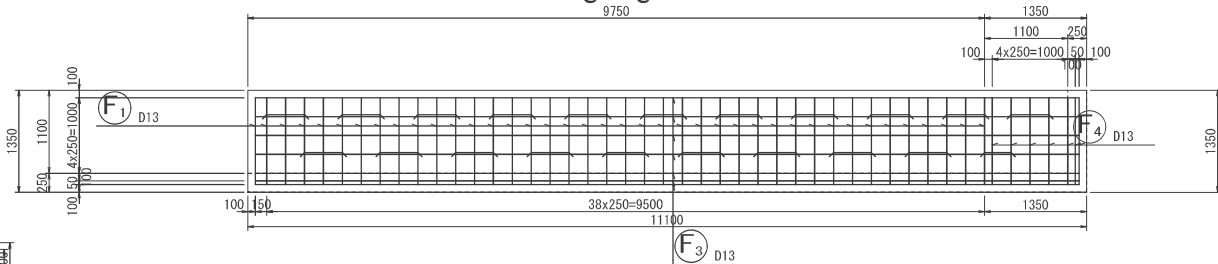
背面図

- 2



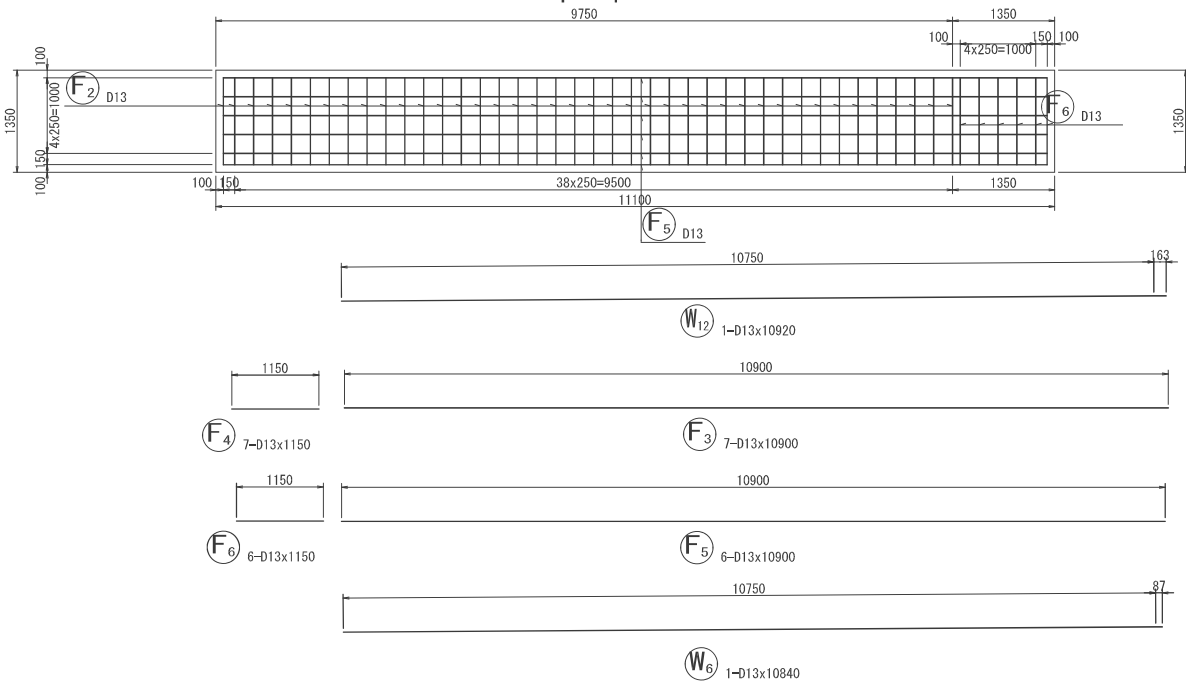
底版上面図

3 - 3



底版下面図

4 - 4



訂正	.				件名	岩手県立富古商工高等学校及び岩手県立富古水産高等学校 校舎新築(建築)工事	
	.				図面名称	L型擁壁構造図・配筋図-4	
	.				縮尺	A1版 1:50 A3版 1:100	図面番号 G-008
	.						
	.						

